

6-1. 品目別輸出入通関額

近畿地区の輸出入について、商品構成の特徴をみると、輸出では、一般機械、電気機器の2品目で50%を超えており、大阪・近畿に占める電機・機械産業の比重の高さがうかがえます。また、繊維及び同製品、化学製品、金属及び同製品の割合が全国平均と比べて高く、大阪においてはこれら産業の比率が依然として高いことが特徴となっています。

一方、輸入については、繊維製品の割合が全国平均と比べて高く、シェアで見ても国内の4割強を占めている反面、鉱物性燃料や機械機器の割合が全国平均と比べて低くなっています。

輸出通関額(平成16年)

(単位：百万円)

	近畿圏		全国		対全国比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
食料品	74,510	0.6	283,034	0.5	26.3
繊維及び同製品	631,502	5.0	931,553	1.5	67.8
化学製品	1,389,657	11.0	5,221,194	8.5	26.6
非金属鉱物製品	218,807	1.7	677,966	1.1	32.3
金属及び同製品	933,838	7.4	4,060,545	6.6	23.0
機械機器	8,153,789	64.3	43,697,968	71.4	18.7
一般機械	2,994,571	23.6	12,606,985	20.6	23.8
電気機器	3,978,821	31.4	14,373,266	23.5	27.7
輸送用機器	646,000	5.1	14,107,383	23.1	4.6
精密機器類	534,396	4.2	2,610,334	4.3	20.5
その他	1,283,057	10.1	6,297,720	10.3	20.4
総額	12,685,159	100.0	61,169,979	100.0	20.7

輸入通関額(平成16年)

(単位：百万円)

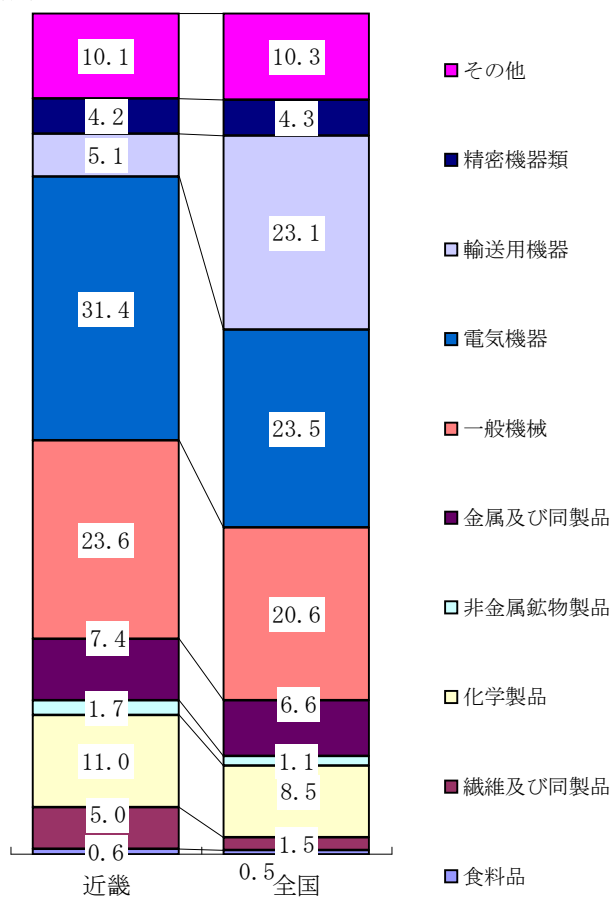
	近畿圏		全国		対全国比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
食料品	1,200,439	12.9	5,302,155	10.8	22.6
原料品	500,587	5.4	3,078,926	6.3	16.3
鉱物性燃料	1,125,091	12.1	10,670,590	21.7	10.5
化学製品	1,006,685	10.8	3,816,181	7.8	26.4
繊維製品	1,190,705	12.8	2,931,639	6.0	40.6
非金属鉱物製品	112,588	1.2	592,007	1.2	19.0
金属及び同製品	544,037	5.8	2,530,165	5.1	21.5
機械機器	2,608,395	28.0	15,393,987	31.3	16.9
その他	1,024,742	11.0	4,900,987	10.0	20.9
総額	9,313,269	100.0	49,216,636	100.0	18.9

(財務省、大阪税関「貿易統計」)

(注)近畿圏は、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県。

輸出の品目構成(平成16年)

(%)



輸入の品目構成(平成16年)

(%)

